

日本共産党松江市委員会機関紙

# 新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

## 共産党中国ブロック一斉宣伝 日本共産党の躍進で、 国政・市政の革新を！

月	日	曜	会議名
12	2	水	本会議
	7	月	代表質問 (田中)
	8	火	一般質問 (吉儀)
	9	水	一般質問 (橘)
	10	木	総務委員会
	11	金	教育民生委員会
	14	月	経済委員会 建設環境委員会 (現地)
	15	火	建設環境委員会
	18	金	予算委員会
	22	火	本会議 (討論・採決)

### 12月市議会の日程決まる



訴える市議予定候補、尾村県議と3市議

20日、中国ブロック一斉宣伝行動の一環として、舟木けんじ・橘ふみ両市議予定候補、尾村利成県議、橘よしあき、吉儀けい

最初に、橘ふみ予定候補が、女性が活躍できる子育てしやすい市政実現の決意を、舟木けんじ予定候補が、市民アンケート回答に寄せられた切実な願い実現に奮闘する決意を述べました。続いて、橘よしあき市議団長は「12月議会で市民要求実現めざす」、吉儀けい市議は「来年度予算要望を集約し実現めざし提出する」、田中はじめ市議は、「代表質問で原発のない松江を求める」とそれぞれ述べました。

### 舟木けんじ・橘ふみ市議予定候補、 尾村利成県議、3市議が街頭宣伝

### 最後に尾村県議が、「学術会議任命拒否の菅政権は許せない。」

最後に尾村県議が、「学術会議任命拒否の菅政権は許せない。」と訴え、総選挙で新しい政治をつくるために全力を尽くす決意を述べました。市民から手を振るなどの激励が寄せられました。

### 日本国民救援会 第43回県大会を開催

14日、教育会館にて、日本国民救援会第43回県大会が開催され、西村信之弁護士による「再審法改正について」と題した記念講演が行われました。

初めに、刑事裁判のルールについて「事実認定」のしかたや、「疑わしきは被告人の利益に」の原則などを解説。その後、本題である刑事訴訟法の再審規定の問題点を袴田事件、大崎事件、松橋事件を通して具体的に、かつ的確・平易に指摘されました。

現行再審規定は、どのような時に再審を請求できるか、また再審をどのようにして実施するかなどの手続きのみで、再審制度の本質である「人権を尊重し、無実の人を救う」ための観点が抜け落ちていく不十分なものです。

### みんなでつくる島根の会

15日(日)島根県民会館で、「みんなでつくる島根の会」(会長・松尾壽島根大学名誉教授)の第三回総会が開催され、17名が参加しました。

総会では、三宅孝之・島根大学名誉教授が、「昨年の県知事選挙時に、自民党の分裂選挙のみが争点では、肝心の県民の要望や原発問題がなおざりにされており、市民と野党の共闘で知

吉儀議員の一般質問は9日になる可能性があります。

さらに、警察・検察が持つ証拠は開示の義務がなく、再審請求人に有利となりそうな証拠は隠されること、また、再審開始決定がなされても、検察の上訴権(不服申立て)が認められていて、即時抗告、特別抗告が乱



「みんなでつくる島根の会」の皆さん

「原発をめぐる現状」、「コロナ禍での介護現場の課題」、「地域の労働戦線の活動」、の報告があり、また尾村利成県議は「北海道問題」について、「防災・減災の公共事業こそ必要」と報告しました。

昨年の知事選に立候補し奮闘した山崎泰一氏も支援し感謝し、今後につなげていくと決意を述べました。

会では、引き続き、原発ストップ、自治が生きる地域づくりのために継続して活動を進めていくことが確認されました。



記念講演を行う西村信之弁護士